

サッポロマイマイ

菊水イチイ幼稚園ご一行様は去年も8月18日にご来林いただきました。今年もほぼ同時期に澄川森林にお迎えしました。この日は朝方に雨が降りまして、事前にカミネツコン植樹の地拵えする時点で、そこら辺りの数々の濡れた樹幹にカタツムリが登りあがっているのに気づいてはいました。その一匹がサッポロマイマイでした。撮影画像の記録は2015年8月19日11時16分でした。

植樹を終えた園児とその保護者たちを森の一部を案内するのですが、この日は数人の子供がカタツムリを取ってきました。コドモは昆虫にも興味を持ちますが、カタツムリも好きなようで、かなりの子供が関心を示しました。収穫されたカタツムリの幾つかはサッポロマイマイでした。



この固体は右上の写真でご覧のとおり、殻の巻きに沿った帯状の模様(色帯)がはっきりした典型的なサッポロマイマイですが、色帯に若干の乱れがある固体もあるようです。分布は旭川が北限でそれより南の北海道固有種とのこと。南方系の種類とかで、地球の氷河期に日本列島が地続きになっていた時代に北海道まで北上してきたものと考えられているようです。地理的棲息範囲が狭いのです。澄川森林では頻繁に見かけますが、環境省

では準絶滅危惧種に指定しています。生態的には森林に棲み、樹上を主な生活の場に行っているとのこと。カタツムリを飼育している筆者の孫の話では、掃除を怠るとなまぐさい嫌な臭いがすることです。

古い童謡で「でんでんむしむしかたつむり、おまえのあたまはどこにある、つのだせ、やりだせ、あたまだせ」と唄った記憶が蘇ります。今の子供たちはこの歌を歌ったことがあるのでしょうかね。ついでに2番の歌詞は「あたま」が「めだま」に変わるだけなので、頭と目玉をごっちゃにしないように、子供たちに歌ってあげてください。

